



社会福祉法人 倉敷福德会  
外神田かなりや保育園

令和7年度

すくわくプログラム

実績報告

テーマ「物の動き」



とうきょう  
すくわく  
プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

## 【テーマの設定理由】

- 日常でいろいろな物の動きに興味を示す姿があった。
- 昨年度から年長児を中心にいろいろな物の動きに対し、「こうしたらどうなるかな?」と探求しようとする姿が見られていた。

## 【活動スケジュール】

1. 動物や海の生き物の動きについて(4月～)
2. 水の動きについて(6月～)
3. 体の動きについて(8月～)
4. 職員会議で中間報告(10月)
5. 身近な物の動きについて(12月～)
6. ホームページにて活動の報告



下記の点線枠に  
【探究活動の実践】  
活動中の子どもの姿・声、  
子ども同士や保育者との  
関わりを記載。

## 【活動の為に準備した素材や道具、環境設定】

### 【素材・道具】

- 滑り台、ベンチ、トランポリン、音楽、マット、トンネル、大縄、縄跳び、万華鏡
- お花紙、カラーポリ袋、パラバルーン、ポリ袋、スズランテープ、扇風機、うちわ、風船
- たらい、水、スプリンクラー、食紅(紅・黄・緑)、製氷機、葉っぱ、水風船、クリアカップ、水遊び用玩具、氷、石鹸、泡だて器
- 竹、毛糸、箸、容器、水、ホース、やかん、ラップ等

### 【環境設定】

- 0歳児 6名1グループ
  - 1.2歳児 6名1グループ
  - 3歳児 7名1グループ
  - 4.5歳児 6名1グループ
- ※活動によっては異年齢で活動を行う。
- 一人ひとりの探究を尊重する。
  - 一人ひとりがじっくり楽しめるよう、個々に用具やおもちゃを準備する。また、スペースを確保する。

## 【探究実践】

### 〈活動内容〉

#### 【水・氷等に触れる】

- 水や氷、泡や色水、水風船などに触れ、感触や温度などの変化の違いを楽しんだ。
- 水あそびからスタートし、夏の遊びに慣れてきてから遊びのバリエーションを増やしていった。
- 流しそうめんは実際に行えないので、毛糸を使って流しそうめんごっこを楽しんだ。

#### 【運動遊び】

- 身体を使った運動遊びを取り入れる。体操や遊戯の中で跳んだり、しゃがんだりする動きを多くしていたので、トランポリンやトンネル、感触マット等を用意し、子ども達が自ら楽しんで運動する姿があった。パラバルーンの形の変化を感じながら、技の習得に取り組んでいた。

乳児クラスもバルーンの中に入り、空気でバルーンが広がる様子をじっと眺める姿があった。

大縄や縄跳びを遊びの中で取り入れる。跳ぶだけでなく、縄の動かし方によって、縄の動きの変化などを感じた。

#### 【生き物の動き】

- 動物園や移動水族館で生き物の動きに見たり、触れたりし、動きの違いを楽しんだ。動物や生き物の動きを真似する姿、ブロックで真似や生き物や動物を自由画帳に描く姿もあった。

#### 【身近な物の動き】

- 園内にある色々なものを使った動きについて体験した。滑り台を自分で滑ったり、滑り台から身近ないろいろなものを滑らせてみたり、動きの違いを体験した。
- お花紙やカラーポリ袋、すずらんテープなどの身近な保育材料を高さのある所から落としたり、揺らしたりし、動きの違いや色の変化を楽しんだ。
- 4.5 歳児は遊びの中で保育者が持っていた万華鏡に興味を示す。回すことによって色や形の変化に驚き、喜んでいった。4.5 歳児で手作りの万華鏡作りを行い、自分の作った万華鏡と友達の作った万華鏡の違いを楽しんだ。

# 水遊び・感触遊び・氷遊び・泡遊びなど



水や氷、泡や色水などを行いました。  
遊びながら、いろんな動きがあることを遊びながら学び、探究することができました！  
乳児クラスは桶に少量の水を入れ、水遊びをしたり、水風船や冷やした寒天をビニール袋に入れたりして感触や水の流れの変化を楽しみました！



ウォータースライダーにも挑戦しました！

「水の量が多い方が滑りやすいね！」「シートがない方がいいかも！」と、滑りやすくするにはどうしたら良いかな？と子どもたちと一緒に考え、実際に色々なパターンで滑ってみました！

## 運動あそび



運動あそびの内容によって、身体の動きの違いなどを感じながら遊ぶことができた。「〇〇みたいだね」など子ども同士で声を掛け合う姿も見られました。

## 生き物の動き



「こんな風に動いてる」など生き物の動きを感じ、身体やブロックなどで生き物の動きや形を表現し、日常の遊びの中へ自ら発展していくことができました！  
そのあと、動物や生き物について図鑑で調べてきました。



## 身近な物の動き



滑り台・カラーポリ・牛乳パックなどを使って、物の動かし方について探求しました！「タイヤが付いているやつの方が滑りやすいと思う！」と言  
い、どうしたら滑りが良くなるかお友だちと試行錯誤していました！

## 流しそうめん



子どものリクエストで流しそうめんをしました。保育者に竹を切って  
もらおうと、一緒に竹を組み立て、どの角度が流れやすいか試行錯誤し  
ながら水が流れることを確認し、最初は毛糸を使って流しそうめんご  
っこを楽しみました！後日、サプライズで本当の流しそうめんをして  
楽しみました。「もっとそうめんながしてよ！」「水の勢いつけたらど  
う？」など、言っていました。とても大盛り上がりでした！！

## 【振り返り】

### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- じっくりと見守りながら待つことで、子どもの気づきや反応を見ることが出来た。また、子どもの感じ方が多様で、最初意見が言えない子でも他の子の気づきや反応を見て、答えることがあった。  
さりげなく意見など聞きだすことの大切さも改めて感じることが出来た。
- 子ども達一人一人感じ方は多様で考えていることが違うため、それぞれ一人ひとり気づきの違いに驚かされることも多かった。また、今その子は何を考え、感じたのかなど深く知ることが出来たように感じる。
- 子ども達が探求しながら、活動を進めていくにはより先を見据えて必要な材料や物を用意しないといけないと感じた。  
子ども達の発想が豊かなので、ある程度子ども達にどんなものが必要か、あったらいいなと思うものを用意するようにすると、より活動が広がったように感じる。
- 探求活動がどのようなものになるのか予想しながら、進めていったが保育者が思っていなかったような活動に繋がることもあり、勉強になった。
- テーマが物の動きだったので、散歩中などの日々の活動の中で保育者が感じたことを言葉にすることで子ども達も自分の感じたことを言葉にし、いろんな友だちとの会話が広がり、保育室に帰ってから見た物を再現することもあり、日々の生活が探求活動へつながると感じた。
- 子どもが「やってみたい」と思うことに対して、常にアンテナを張り実行することで子どもがより輝き、探求心を持ち意欲的に活動する姿があった。中には思い通りにいかないことがあったが、子どもが気づきや発見に繋がったと感じた。
- 実際に子どもたちと活動する中で、子どもと一緒に楽しみながら童心に帰って活動することができた。  
子ども達自身がしたいこと・やりたいことを子ども主体で実現させるにはどうしたらいいのかなど、職員同士で話し合う機会も多く会話が広がることも多かった。  
会話が多く生まれたので、保育の中で職員同士の連携がより出来るようになった気がする。